

令和5年度 学校評価書 (実施段階)

福岡県立福岡工業高等学校 (全日制課程)

自己評価					
学校運営計画 (4月)			評価 (総合)		
学校運営方針	文武両道を校是とし、豊かな人間性と創造的な知性を備え、社会の発展と文化の創造に貢献できる工業人材を育成する。 1 校訓「貞実剛健 自律 創造」を体現する生徒の育成を目指した教育活動を全教職員で推進する。 2 次代を担う工業人材を育成するリーダー校としての責務を果たすべく、ものづくり教育を通して工業高校として魅力ある学校づくりに邁進する。 3 ポストコロナの進化した教育活動を展開する。		B		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
昨年度は、コロナ禍が続く中ではありながら、体育祭や文化祭等の学校行事を十分な形態で実施することができ、生徒の成長に大いに資するものとなった。このことは、公務員試験や国立大学での合格者の増加などの進路実績や部活動の良好な実績として結実した。 工業高校の在り方を問い、新しい工業高校をつくる気概を持ち、ポストコロナの進化した教育活動を展開していくことが課題である。また、本校の工業高校独自の教育実践や就職・進学の実績等の魅力を中学生・保護者に浸透させるなど、効果的な広報活動を展開していく必要がある。	自ら学ぶ力の育成	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善、教科指導力の向上 新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりと観点別評価の定着 一人一台端末等のICT環境の活用による個別最適な学び、協働的な学びの推進			
	自ら考え行動する力の育成	積極的生徒指導による自律心の育成、規範意識の向上 教職員の連携強化によるいじめ事案の早期発見及び対応、教育相談体制の充実 生徒会組織の活性化による生徒の主体的な活動の推進と学校行事の充実 部活動のさらなる活性化によるTeam Fukkoの意識向上			
	キャリア教育の充実と進路別指導体制の確立	キャリアデザインノートの活用による自己実現の支援 進路意識の向上を図るガイダンス等関係行事の効果的実施 進学及び企業就職に対する指導の充実、公務員指導体制の確立			
	工業教育の充実	各学科の特徴を生かした教育活動の推進と専門的指導力の向上 スマート専門高校、実習棟建替を契機とした実習内容の見直し 競技大会、コンテスト等の入賞及びジュニアマイスター全員取得に向けた指導体制の充実 各種競技大会や研修会等の運営によるプロジェクトマネジメント力の育成			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題	
学務	指導力向上	確かな学力の育成と、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を行う。	ICTの活用等による「わかる授業」の創造、個に応じた学習指導の工夫を通して家庭学習を充実させる。 教科等の本質的な学びを踏まえた視点からの学習指導方法の改善を行う。 非常時における学習活動の対応及び個別学習推進に向けたオンライン学習環境の充実を図る。また、研修図書課・メディア課と連携し、ICT機器活用に関するスキルアップを図る研修を実施する。	A B A	ICT機器に関する指導力の向上を図るため、次年度も研究図書課やメディア課と連携し研修を行っていく。また、次年度も学習指導方法の改善に努める。
	評価の改善	新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりと観点別評価を定着させる。	研修図書課と連携し、さまざまな研修を通して観点別評価を定着させる。 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程委員会と協議し、教育課程をより充実させる。 観点別評価の評価規準を作成し生徒に提示することにより、個に応じた学習指導を充実させる。	B A B	
メディア	情報活用	各部署と連携してICT活用が働き方改革の第一歩となるようにする。	SNSを通して学校の魅力を発信する。 生徒データを幅広く効果的に使用できるように管理を行う。 Google classroomを利用し、学年間・学科間で取り組み内容等の情報を共有し活用する。	A A A	新ホームページの立ち上げに向けてシステムの構築をおこなっていききたい。学校PRの動画制作を行い、広報活動の充実を図る。
	授業改善	教室に設置されたICT機器の活用により、情報活用能力を向上させる。	新入生に向けてICTスキルアップ研修を実施し、Googleアカウントが連絡手段や家庭学習の充実となるようにする。 メディア委員会活動を計画的に実施して、機器の環境整備を充実させる。 教員及び生徒向けの研修会を実施する。	A A A	
研修図書	研修	教育力向上や観点別評価の定着を図る研修体制を整える。	研究授業や各種研修が教職員にとって有意義な研修となるように早期の案内や支援を積極的に行う。 主体的・対話的で深い学びを実現するために、学務課等の関係部署と連携して授業改善や教科指導力の向上を目指す。	A B	各種の研修や教育関連の情報を充実させて教員の教育力の向上を図る。
	図書	図書館利用の促進に努めると共に、図書委員を中心に新刊案内や各種の活動を実施し、図書館の広報活動の活性化を図る。	新刊書、工業系の専門書の充実を図ると共に、図書ディスプレイや新刊等の特集コーナーを工夫して読書活動への関心を高める。 日常業務や校外での自主的な活動を通じて図書委員としての自覚を養成し、委員会活動と広報活動の活性化を図る。	A A A	
生徒指導	人権・同和	教育活動全般において、学校全体で人権意識を涵養する。	全教職員協力の下で人権教育特設授業を充実させ、生徒の人権意識向上を図る。 教職員、特に若年教員に人権教育に関する研修会への積極的な参加を呼びかけ、指導力の向上を図る。	A A	学校全体で人権意識の向上と研修の充実を図り、誰もが安心して生活できる環境作りを行う。
	生活指導	積極的生徒指導により、基本的な生活習慣を確立させ自律心の育成、倫理観を含めた規範意識を向上させる。	生徒主体となり自己の学校生活を考えさせ、規範意識やモラル、マナー向上を図る。 初期対応を軸にきめ細やかな指導を行いながら職員間で情報共有を図る。 生徒会や委員会等を積極的に活用し、登校指導や挨拶運動を通して、余裕を持った早めの行動で重傷事故防止(交通事故や授業中のケガ等含む)に努める。	A A B	
生徒会	教育相談	教職員の連携を強化し情報共有を行い、いじめ事案の早期発見及び対応、教育相談体制を充実させる。	全職員に本校のいじめ防止基本方針を周知し、いじめ事案に対し積極的に認知を行い早期発見・早期対応を目指す。 学校生活アンケートの質問項目を随時見直し生徒から細やかな聞き取りがしやすい教育相談体制を充実させる。 いじめの事案に対し、生徒や保護者との懇談にて迅速・正確に情報収集し、職員個人や部活動内での判断にらず組織的に対応を行う。	A A B	職員研修等で適宜にいじめ防止基本方針の共通理解を深め、未然防止や早期発見を教職員や保護者等で情報共有を図り組織的に対応する。アンケートや教育相談週間を活用して寄せられた、生徒の不安や悩みに対してSCや外部相談機関とも連携して解決を図る。
	生徒会活動	生徒の主体的な活動が促されるような委員会活動を行い、学校行事や部活動を活性化させる。 また、活動を通して成功体験を称賛し、Team Fukkoの意識を向上させる。	生徒会長、生徒会執行部、応援リーダーを中心に各委員会及びリーダー部と部活生と連携し、生徒が主体的に活動できる学校行事を企画運営する。 委員会活動を充実させ、生徒の主体的な活動を促進する。また、各機関と連携することで、より成功体験を増加させる。 校内外の挨拶を徹底実践することで生徒間の自己肯定感を向上させる。HR、部活動、委員会との連携も図り、地域に愛される学校を保つ。	A A B	
保健	健康安全指導	生徒の心と体の健康安全教育の充実にも努め、生徒自身が自分の健康について考え、安心して学校生活を送るための支援を行う。	生徒健康診断及び各種健康相談の計画的かつ確実な実施と感染症予防により、生徒の健康の保持増進を図る。 スクールカウンセラー等の相談体制をさらに充実させ、職員間の連携を図りながら生徒の支援を行う。 生徒保健委員が、日々の活動においても学校行事においても主体的に行動できるように指導助言を行い、健康教育の担い手の一人としての自覚を育てる。	A A A	生徒健康診断・各種検診・感染症予防を全職員の共通理解と協力のもと実施する。またスクールカウンセラーなどの相談事業を活用しやすくなる体制づくりを図る。生徒保健委員会の活動をさらに充実させる。
	環境整備	環境整備を通して生徒の自己肯定感を向上させ、地域に愛される美しい学校を保つ。	日々の清掃活動が円滑に行われるように、清掃用具等の調査・補充を行う。 生徒美化委員が中心となつてごみ分別やリサイクル活動を推進できるように指導助言を行う。 ホームルーム活動でのボランティア清掃や生徒美化委員会活動の一環としての奉仕活動を展開し、校舎周辺の美化を保つ。	B A A	

学校関係者評価		
評価 (総合)	自己評価は	
A	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である	
	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
	A	・ICT機器を活用した指導力向上のための研修を行うなど、生徒のために日々研鑽を積まれていることを知ることができた。
	A	・インスタグラムでの教育活動発信は良い取組みである。 ・HPが文字が多く硬いイメージを受ける。感覚的なところに訴えかけるような見せ方など、もう少しわかりやすくしてほしい。
A	・いじめや人権教育に関する職員研修など、職員のスキルアップに努めていることを知ることができた。	
A	・自転車通学者のヘルメット着用について、着用率向上のための方策を検討してもらいたい。 ・自転車運転について、法令順守やマナー向上に対する指導を継続してもらいたい。 ・いじめの認知について、「見逃しゼロ」を目指して取り組んでいることがよく分かった。 ・生徒に対し、大声で圧をかける外的コントロールによる指導ではなく、生徒自らが動くようになるような指導・支援の方法を考えてもらいたい。	
A	・新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことにより、学校行事が盛大に行われたことに安心している。行事を通して生徒が大きく成長したことを感じた。	
A	・インフルエンザが流行したので、感染症対策など健康管理に関する指導は継続してもらいたい。 ・清掃用具が不足しているようなことがあれば、工友会(同窓会)に相談してほしい。支援が可能である。	

進路部	就職指導	生徒の進路意識の向上を図り、自己の適性や希望進路に配慮した指導助言を行い、進路実現への支援を行う。	生徒一人ひとりの進路に関する情報や学習状況などをクラス・学年・学科・コースと共有し、キャリア教育の充実と強化を図る。	A	A	A	大学、専門学校、企業等との協力を充実した進路行事を実施し、自己目標実現の支援と連携する。現に、生徒が思い思い進路の手引きやキャリアデザインノートの内容の改善・充実を図る。	A	・就職希望生徒の内定率100%は大したものである。先生方の御指導の賜物であると評価するとともに感謝する。				
		キャリア教育プログラムの実践から、各学年の進路目標に応じて活動を充実させ、卒業後社会人、職人、職人として自己実現可能な基礎能力を養う。	進路の手引きやキャリアデザインノートの活用を推進し、キャリア形成と進路実現に向けた意識の向上を図り、自己目標実現の支援を行う。	A			1次での内定率95%を目指し、基礎学力の向上や面接指導の充実を図る。公務員指導体制を再構築し、教員並びに面接指導の充実を図る。進路研修会や応募前職場見学を推進し、進路意識の高揚と学校生活に全力で取り組ませる。						
	進学指導支援	進学する目的を明確に持つことができるように、ガイダンスや説明会を効果的に実施する。	3年間を見越したガイダンスや説明会を企画し、その目的を関係職員と共有することで指導の効果を上げる。	B			B			B	次年度で学科の再編や新設が増加しており、情報収集・発信し、生徒の希望や適性に合った進路選択をさせるようにする。	A	・大学の研究内容や入試に関する情報収集をよくされており、生徒の志願校選択に生かされていることがよく分かった。
学習力の向上	希望進路の実現だけでなく進学後の学習に不足がない学力と学習力を身につけさせる。	履修年での進路ガイダンスや説明会の内容を充実させ、目的を持った進路選択を促し、受験準備を意欲した高校生活を送れるようにする。	B	B	B	基礎学力の定着と学習力の育成を目的に校内進路模試や進路課外を実施し、進学後の学びにも適応できる力をつける。							
業務	学校行事	学校教育力を高めるために、PTA活動を展開しつつ学校行事を充実させる。	役割分担を明確化した校務分掌と積極的に連携することで、スムーズな学校行事運営を行う。	B	B	B	機材予約買出表への記入による貸出し方法が徹底できていないため、機材等の貸し借り方法を再検討する必要がある。	B	・機材については適切に管理することは大切なことなので、買出方法についての検討に期待する。				
	広報活動	本校の特色ある教育活動の情報を発信するために、広報活動を充実させる。	機材等の貸し借り方法を見直し、学校行事の円滑な準備が行えるように努める。	C			B			B	次年度の学校案内について、各学科と連携しながら内容を一新し、早期の制作を目指す。また、各学科リーフレットの作成も併せて行う。	B	・学校案内の一新には期待する。 ・近隣の商業施設でのライトアップなどは良い取組みだった。 ・工友会(同窓会)とのタイアップを考えてみてはどうだろうか。
学年	1学年	「質実剛健 自律 創造」を体現する生徒の育成を目指し、ポストコロナの進化した教育活動を展開する。	「挨拶日本一」のスローガンを掲げ、日本一の挨拶ができる学校を目指す。	B	B	B	機材等の貸し借り方法を再検討する必要がある。	B	・校歌・応援歌練習、文化祭、体育祭等の学校行事を通して、福祉生としての基礎を築くことができる。				
	2学年	素ある福祉生としての自覚と誇りを涵養し、自ら考え、行動しようとする主体的な態度を育む。	積極的に生徒指導による自立心を育成し、規範意識の向上を目指す。	B			ともに学び合い、励まし合い、許し合い、切磋琢磨して高め合う集団をつくる。			A	修学旅行などの学校行事を通して、互いに高めあう集団となってきた。次は進路実現に向けて、個々の意識の向上を目指したい。	A	・修学旅行で、個別研修を成功させるなど、自分で考えて行動できるようになってきている。
	3学年	最上級生としての自己役割の自覚とそれに基づく行動力を育成する。	保護者と教職員の連携を強化し、すべての生徒が安心して学校生活を送れるようにする。	B			困難を改善すべき課題とらえ、解決しようとする生徒を育成するためにキャリア教育を充実させる。			B	各部署と連携し、生徒主体の学校行事の実施や生徒の進路実現を図ることができた。時間厳守や規範意識の更なる向上に取り組んでいきたい。		
専門科目	染織デザイン科	工業人として適用する豊かな人間性と創造的な知性習得及びキャリア教育の推進を図ると共に授業や資格取得を通して学習方法を取得させ自立できる教育活動を推進する。	学校行事・科内行事を通じて学年ごとの目標を定め、スムーズに行動できる実行力の育成と達成感の経験を通じて人間力向上を図る。	A	B	B	PTA活動を通じて保護者と学校との連携を深め、より効果的な教育活動を行えるようにする。	B	B				
	建築科	基本的な生活習慣の定着と希望進路実現に向けた教育活動を充実させるとともに、建築技術者として、安全で安心して暮らせる社会の発展と文化の創造に貢献する次世代の工業人材を育成する。	生後全員の進路実現に向けて、保護者、各学科や進路指導部をはじめとする各分掌と連携し、生徒一人一人にあった進路指導を行う。	B			ICT環境の活用や授業改善を常に実施し、興味関心を引き出すとともに、デザイン公募への興味をもたせ応募数を増やし、入選作品の増加を図る。また、資格試験合格前年度比5%増、色彩検定全員合格と文部科学大臣賞受賞を目指す。			B	各部署と連携し、生徒主体の学校行事の実施や生徒の進路実現を図ることができた。時間厳守や規範意識の更なる向上に取り組んでいきたい。	B	・実習等に対する安全第一への意識が高く、感心した。この意識の醸成は続けてほしい。 ・資格取得について、取得率向上のためのシステムの再構築が必要なかもしれない。 ・受験する資格に対する生徒の意識・モチベーションを上げる取り組みを望む。生徒の資格取得に対する動機が内発的なものとなり強くなるような指導をお願いしたい。 ・校舎改築工事が行われているので、工事現場の見学、工事内容に関するの講義等、この工事を生徒の学びに生かせないだろうか。
	機械工学科	ものづくりや工業技術に興味・関心を持たせ、進路に対する意識向上を図るとともに、リーダーとなる生徒を育成し就職内定率100%を早期に達成する。	挨拶、時間厳守、言葉づかい、整理整頓等、リーダーとして必要な基礎・基本を指導する。	B			進路目標の早期達成できた。インターンシップの実施も十分ではなく進路指導も含め、次年度に向け指導体制の充実を図る。資格取得では難関の高い試験に合格者も出ているが、全体の合格率は不十分だったので補習内容の見直しを行う。			B	各教員の教材の共有化を進め、専門教材の指導スキルをアップしていく。専門資格試験の指導体制の充実を迎えるように教員間での研修等を重ねていく。		
機械工学科 工業進学コース	各大学の様々な入試制度を利用し、工業系の大学進学を目指す。また、未来の工業界を担う研究者・開発者としての志を育成する。	キャリアデザインノートなどを積極的に活用することでキャリア教育の充実を図り、進路意識を高め国立公立大学・高専・難関私立大学への進学率70%を目指す。	B	生後一人ひとりの学習に応じた課題を提供はしたが、学習の理解度にばらつきがあった。次年度は家庭学習の意識を高める必要がある。	B	B	進路では、70%の進学率を目指したが65%と達成することができなかった。次年度はキャリア教育を見直し、進路意識の向上を図る。	B	・校舎改築工事が行われているので、工事現場の見学、工事内容に関するの講義等、この工事を生徒の学びに生かせないだろうか。				
情報工学科	基本的な生活習慣や自己学習力、課題解決力を身につける教育活動を充実させ、ものづくりや競技会に情熱をもって取り組み、情報化社会で活躍する生徒を育成する。	後進の育成のための技術や知識の伝承により、情報技術の進展に対応できる教材研究を積極的に行う。	B	情報技術の進展に対応した実習教材の開発やICTの活用により、学習意欲を高める指導をする。	B	B	担当教員間で連携を密にとり、生徒の情報共有を徹底し、細やかな指導を行う体制づくりを取り組む。						
環境化学科	基本的な生活習慣や自ら考え行動する力を身につけさせると共に、化学技術者として環境問題に興味関心を持ち自ら課題を見つけ解決できる人材を育成する。	時間厳守や整理整頓など、社会人として必要な能力の育成を図るために、実習等授業へ取り組み方の改善を行う。	B	自ら考えて学習に取り組む力を育成するために、授業改善や実習内容の検討を行い、観点別評価の定着を図る。	B	B	進路に関する情報共有を積極的にに行ない、早期の情報提供に努め、生徒が希望する進路を確実に実現させる。						
都市工学科	電気工学科	電気系に特化した学科の特徴を生かし、電気技術者として自立心並びに自己の目標を持ってより日々の学習活動を充実させる。また、何事にも積極的に取り組む向上心を持つ生徒を育成する。	積極的に生徒に興味・関心をもてる授業改善に取り組み、電気技術者として必要な学力の定着を図る。	B	C	B	資格に対する生徒の意識を高め、教員間で連携を密にとり、第二種電気工事士の全員合格を目指す。	B	B				
	都市工学科	土木技術者として、社会性やコミュニケーション能力を磨き、都市工学科の生徒として自覚と誇りを持ち、主体的に活動する生徒を育成する。	自ら考え、行動することの大切さを気づかせるとともに、挨拶・危険予知等、工業人としての自覚、社会性を育成する。	A			基礎学力の向上を目指し、聞く力・話す力・考える力の育成を図ると共に、自ら判断し行動できる力を育成する。			B	国家資格の測量士補試験では、近年の中で最多の10名を合格させることができた。これを継続することによって、生徒に自信を更につけさせる。実習棟改築工事も本格的に始まるため、実習内容の精査・工夫を行う。	B	・校舎改築工事が行われているので、工事現場の見学、工事内容に関するの講義等、この工事を生徒の学びに生かせないだろうか。
	電子工学科	電子技術者として専門力を身につけさせるとともに、基礎的な生活習慣の定着を図り、心身ともに健康であるための体力や協調性、豊かなコミュニケーション力を育成する。	実習・課題研究において、安全教育と整理整頓(工具の管理、清掃)の徹底を図ることで技術者としての基礎を身につけさせる。	B			観点別評価によって生徒の問題解決能力及びプレゼンテーション能力を評価することで、協調性、豊かなコミュニケーション能力を育成する。			B	B		
工業進学科	今年度から工業進学科となり、新たに建築系を新設した。進学先を新たに開拓するとともに、生徒の基礎学力向上を目指し、少人数授業を履修し生徒の進路実現を目指す。	キャリアデザインノートなどを積極的に活用することでキャリア教育の充実を図り、自己実現の支援を行う。	B	観点別評価を踏まえた授業づくりを行い、家庭学習の意欲・向上を狙う。	B	B	少人数制の授業の特性を活かして専門に関する知識を身につけることで、進学先で工業のリーダーとし活躍できる生徒を育成する。	B	・次年度より本格的な建築系の指導が始まるため、学科として「実習カリキュラムの見直し」と「進路開拓」を行い、指導体制の確立を目指す。				
電子情報工学科	基本的知識・技能を身につけさせ、更なる着しい、情報分野、電子分野においても、積極的に新しい技術に興味を持って挑戦できる人材、社会に貢献できる人材を育成する。	学科統合により、利用できる機器の種類が増える利点を生かし、より生徒が興味を持って取り組めるよう、実習内容等の改善を図る。	A	新しい技術について教員間で意見交換し、取り組んでみることににより、変化の波に対応していく意識を調整していく。	C	B	計算技術検定3級合格率、ICTプロフェンシー検定3級、情報技術検定3級90%以上を目指す。			B	・新型コロナウイルス感染症の位置づけが第5類に引き下げられたことにより、生徒が安全に安心して教育活動に参加できていることがよく分かった。 ・教育活動のいたるところで、生徒に自ら考えさせ行動させる環境を提供しているところが素晴らしいと感じた。 ・今後、ますます教員の高い専門性とスキルアップが求められると思う。未来の工業界を背負って立つ生徒の指導をお願いしたい。		
自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動について、学校案内(パンフレット)の一新、近隣の商業施設等においてイルミネーションの設置や制作物の展示、出張ものづくり教室の実施等を企画し実施する。</li> <li>・ホームページについて、令和6年度にシステムの変更によりリニューアルするので、現行のものよりさらに見やすく感覚に訴えかけるようなものに一新する。その際、スマートフォンで閲覧することを念頭に置いた画面のレイアウトを考える。</li> <li>・自転車通学者のヘルメット着用について、安全教育を徹底するとともに、生徒が自発的に安全のために着用しないといけないという気運が高まるような環境をつくることによって、ヘルメット着用率の向上をめざす。また、近隣の高校と連携した着用率向上の取組みを実施することとしている。</li> <li>・いじめ防止の取組みについて、「いじめ見逃しゼロ」をめざし、生徒へのアンケートや面談などの取組みの継続やスクールカウンセリングの活用等により、生徒が相談しやすい環境を整える。</li> </ul>													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の位置づけが第5類に引き下げられたことにより、生徒が安全に安心して教育活動に参加できていることがよく分かった。</li> <li>・教育活動のいたるところで、生徒に自ら考えさせ行動させる環境を提供しているところが素晴らしいと感じた。</li> <li>・今後、ますます教員の高い専門性とスキルアップが求められると思う。未来の工業界を背負って立つ生徒の指導をお願いしたい。</li> </ul>													